

2022 年 5 月 20 日

各 位

千葉みらい農業協同組合
農林中央金庫千葉支店
日本政策金融公庫千葉支店

**酪農家の規模拡大および循環型農業の発展（SDGs）に向けた融資について
～酪農経営の規模拡大を J A 千葉みらい、農林中金、日本公庫の 3 者がサポート～**

千葉みらい農業協同組合（以下「J A 千葉みらい」）、農林中央金庫（以下「農林中金」）、および日本政策金融公庫（以下「日本公庫」）の 3 者は、千葉県四街道市で酪農経営に取り組む若月牧場（代表 若月一成氏）に対し、牛舎施設設備資金および新たに導入する搾乳牛の取得資金を合わせた総事業費約 1,000 百万円のうち計 676 百万円を協調融資にて対応しましたので、お知らせします。

若月一成氏は創業二代目の個人酪農家です。当地では 40 年の飼養実績があり、現在 100 頭規模の成牛を飼養、年間 800 トン程度の生乳を生産しています。

地域農業の担い手として酪農事業を営んでいますが、今後も地域農業を守り、持続的に発展させていくため、家畜施設の更新および搾乳ロボットの新規導入による事業規模拡大を志向していました。本件投資により、将来的には成牛 280 頭規模、年間の生乳生産量は 2,500 トン程度まで拡大することを計画しています。

また、本件設備投資により従来 of 3 倍程度の処理能力を有する堆肥処理設備を備えることで、酪農業が抱える畜産環境問題に配慮した持続可能な農業経営に注力していきます。

若月牧場では、牛に与える粗飼料の全てを自らの耕作地で生産した牧草、トウモロコシ等でまかなっており、県内では数少ない粗飼料自給率 100% の酪農経営を行っております。昨今では世界情勢等、外部環境の変化に伴う飼料費の高騰もあり、業界全体の経営環境が不安定になる中、規模拡大後も現状の粗飼料自給率水準を維持し、資源循環型農業（SDGs）の確立による経営の安定化を目指していきます。

今後も J A バンク千葉（千葉県内 J A ・農林中金）および日本公庫は農林水産業者への支援を通じて、農業の成長産業化に取り組むとともに、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上

1 融資先の概要

名称	若月牧場
代表者	若月一成
所在地	千葉県四街道市鹿放ヶ丘255番地11
事業内容	農畜産物の生産、販売および酪農の経営ほか

2 本件にかかる融資の内容について

融資機関	千葉みらい農業協同組合	日本政策金融公庫 (受託金融機関 農林中央金庫)
融資決定額	178 百万円	498 百万円
融資資金名	農業近代化資金	農業経営基盤強化(スーパーL)資金
資金使途	搾乳牛導入資金	牛舎、機械設備等取得資金

(本件に関するお問い合わせ先)

農林中央金庫千葉支店 営業班 星野・鈴木 TEL 043-202-5426
 日本政策金融公庫千葉支店 農林水産事業 種田・山本 TEL 043-238-8501